

2016年 総会資料

オステリア ナトゥラーレ (築地)

2016年 7月 2日

I 会長挨拶

II 議事

第1号 2015年度活動報告
2015年度収支報告
2015年度監査報告

第2号 2016年度活動計画
2016年度予算

〒101-0062 千代田区神田駿河台2-3-16 駿河台スカイビル3階

公益社団法人才能教育研究会 東京事務所内

Eメール：info@suzukimethod-obog.com

ホームページ：http://www.suzukimethod-obog.com

スズキ・メソッドOB・OG会

これまでの活動実績

■ 2010年5月16日(日) スズキ・メソード OB・OG 会が正式に発足、

OB・OG 会 第1回コンサートを開催(国立オリンピック記念青少年総合センター大ホール)

フレッシュなメンバーのピアノトリオから始まり、中嶋嶺雄会長がコンサートマスターを務めるパッヘルベルの「カノン」、OGの渡辺玲子さんの独奏でヴィヴァルディの「四季」から「春」、豊田耕児先生指揮のドヴォルザークの弦楽セレナーデと、少ない練習回数とは思えない熱演に。同じスズキ・メソードで学んだ信頼感や安心感を感じた時間でした。

■ 2010年9月23日(木・祝)「楽器(楽譜)を持って集まろう会」を開催(浜離宮朝日ホール・リハーサル室)

ヴァイオリン科指導者の皆様に、ご指導をいただき、一同大感激。昔を懐かしみながら、バッハのドッペル、ヴィヴァルディの a-moll、ヴァイオリン指導曲集第1～3巻の曲、バッハの「管弦楽組曲第2番」よりロンド、サラバンド、メヌエットなど。その後、ピアノ科若手 OB のソロ演奏を皮切りに、フルートとのコラボレーションを含め、午前中からの曲を成果発表。

■ 2010年12月12日(日)「第7回スズキ・メソード三重大会 with Yasuko Ohtani」に賛助出演(四日市文化会館第2ホール)

木村会長、給田副会長、川野常務理事、その他多数の OB・OG の方々と一緒に参加させていただきました。

■ 2011年3月5日(日)「室内楽を楽しむ会」を開催(浜離宮朝日ホール・リハーサル室)

室内楽をふだんから取り組んでいるメンバーたちを中心に、あらかじめ選定された候補曲を OB・OG 会公式サイトで募集し、トリオやカルテットの組み合わせを作りました。そして、少なくとも事前に練習をして、当日の「楽しむ会」に臨むスタイルにしました。なお、この6日後に東日本大震災が起きたこととなります。

■ 2011年5月8日(日) OB・OG 会 第2回コンサートを開催(国立オリンピック記念青少年総合センター大ホール)

ゲストに OG で東京交響楽団ソロコンサートマスターの大谷康子さんをお迎えし、ヴィヴァルディの協奏曲 a-moll 全楽章を演奏。また、グリーグのホルベルク組曲から3曲では、大谷さんにコンサートマスターをお願いしました。

■ 2011年9月17日(土)～18日(日) メッカ松本散策ツアー(松本市市内、周辺)

かつての松本音楽院跡地を探し当てるなど市内を散策し、鈴木鎮一記念館を訪ね、また、鈴木先生のお墓まいりと墓前演奏を行ないました。

■ 2011年10月8日(土)「アンサンブルを楽しむ会」を開催(浜離宮朝日ホール・リハーサル室)

「楽器(楽譜)を持って集まろう会」、「室内楽を楽しむ会」に続く第三弾となるお楽しみ会として、ピアノ科やフルート科との合わせを楽しむことを主眼に、アンサンブルを楽しみました。参考までに以下の曲目を合わせました。

ピアノ科とのアンサンブル

- ・モーツァルト：ピアノ協奏曲 K414 第1楽章(独奏：原慧さん) 第2楽章(独奏：清水恵子さん) 第3楽章(独奏：山口泰平さん)
- ・クレメンティ：ソナチネ Op.36-1 第1楽章(独奏：原慧さん)
- ・チャイコフスキー：古いフランスの歌(独奏：清水恵子さん)
- ・バッハ：プレリュード(独奏：山口泰平さん)
- ・ダカン：かっこう(独奏：山口泰平さん)

フルート科とのアンサンブル

- ・テレマン：フルートと弦楽のための組曲 イ短調 TWV 55:a2 より Menuet I-II Passetied I-II Polonaise
- ・グルック：メヌエットと精霊の踊り(独奏：前原勝子さん、宮地若菜先生)

■ 2011年10月30日 第24回東海大会に参加(名古屋国際会議場センチュリーホール)

木村真一会長、給田俊哉副会長が東京から参加し、OB・OG 会の PR と東海地区の OB・OG たちとの交流を深めました。

■ 2012年1月15日(日) 第12回関西大会に参加(びわ湖ホール)

OB・OG会のメンバーは、ヴァイオリン科斉奏の「タンブラン」以降の15曲の演奏に参加させていただきました。それも故中嶋嶺雄・才能教育研究会会長と並んで弾かせていただくという光栄に預かりました。中嶋会長の「グローバル化とスズキ・メソッド」と題された講演の最後にもOB・OG会のことに触れていただき、ご配慮の数々にひたすらお礼を申し上げた次第です。

■ 2012年5月20日(日) OB・OG会第3回コンサートを開催(国立オリンピック記念青少年総合センター大ホール)

ピアノ科才能教育課程の課題曲、モーツァルトのピアノ協奏曲第12番K.414をOB・OG会のオーケストラ伴奏で演奏するという企画と、飛ぶ鳥を落とす勢いのチェリスト、宮田さんとヴィヴァルディのチェロ協奏曲ニ長調を共演するというプログラムになりました。しかも、コンサートマスターには、元バイエルン放送交響楽団で長年にわたり活躍されたOGの水島愛子さんを招聘。宮田さんのアンコール曲は、「荒城の月」。いずれも指導曲集に深い関わりのある曲で、密度の濃い演奏をお届けすることができました。

■ 2012年9月22日(土)～23日(日) 楽器を持って集まろう会II(松本市内、あづみ野コンサートホール)

各地のOB・OGの皆様との交流を目指そうという思いから、あづみ野コンサートホールと鈴木鎮一記念館で音出しを楽しむ会を開催。アメリカのヴァイオリン科指導者、裕子・ドライバー・リップマン先生や、甲信地区のOGたちも参加くださいました。

■ 2012年11月24日(土) カルテットを楽しもう会(浜離宮朝日ホール・リハーサル室)

カルテットの名曲を大勢で楽しもうというこの企画。通常なら1パート一人で担うところを複数で楽しむ、いわば弦楽合奏スタイルでした。モーツァルト：弦楽四重奏曲第3番ト長調K.156、モーツァルト：ピアノ四重奏曲第1番ト短調K.478、ハイドン：弦楽四重奏曲第67番ニ長調「ひばり」作品64-5、ハイドン：弦楽四重奏曲第77番ハ長調「皇帝」作品76-3

■ 2013年3月27日(水)～31日(日) 第16回スズキ・メソッド世界大会に協賛、OB・OG会ラウンジも設営

OB・OG会として大会運営のための人的支援、および金銭的支援(1,680,000円)を行なわせていただきました。また、期間中は、ホテルブエナビスタ1階にラウンジを設営したことで、世界からの参加者たちが仲良くなる場を促進させることができました。

■ 2013年5月6日(月・祝) OB・OG会第4回コンサートを開催(国立オリンピック記念青少年総合センター大ホール)

OGのピアニスト、江澤聖子さんとショパンのピアノ協奏曲第1番第1楽章を共演。また、モーツァルトの弦楽四重奏曲第14番ト長調K.387「春」より第1楽章、第4楽章を演奏。指揮者に、医師で音楽家のOB金森圭司さんを招きました。また、2月に急逝された故中嶋嶺雄会長を偲び、「G線上のアリア」を冒頭に献奏しました。

■ 2013年10月5日(土)～6日(日) 鈴木先生の生誕115年記念イベントに参加(ザ・ハーモニーホールなど)

才能教育研究会甲信地区指導者会が主催された記念イベントに参加。2016年4月に「新版スズキ・メソッド 世界に幼児革命を」を上梓された毎日新聞社の小島正美編集委員とも交流しました。

■ 2013年11月29日(金) OB・OG会第5回コンサートを開催(国立オリンピック記念青少年総合センター小ホール)

OB・OG会が単独で主催する演奏会を初めて企画。積極的にOB・OG会に参画いただいているOGの渡辺玲子さん、そしてOGの川本嘉子さんとの共演で、前半はお二人による無伴奏曲の独奏、そしてデュオ、後半はOB・OG会の伴奏で、モーツァルトのヴァイオリンとヴィオラのための協奏交響曲変ホ長調K.364を共演。アンコールでは、川本さんの指揮、渡辺さんのコンサートマスターで、モーツァルトのディヴェルティメントK.136から第3楽章。なんとも贅沢でパワフルな1日となりました。

■ 2014年1月15日(金) スズキ・メソッドコンサート in Kansaiに参加(びわ湖ホール)

綿田俊哉副会長がスズキ・メソッドコンサート in Kansaiに参加し、終演後も関西地区の指導者の皆様と交流を深めました。

■ 2014年2月28日（金）「スズキ・メソード テン・チルドレンの50年」への協賛のお願い（公式サイト）

3月開催のテン・チルドレンツアー50周年への協賛など、支援しました。

■ 2014年5月11日（日）OB・OG会第6回コンサートを開催（国立オリンピック記念青少年総合センター大ホール）

OBの東 誠三さんをゲストにお招きし、ベートーヴェンのピアノ協奏曲第4番ト長調 Op. 58 全楽章を弦楽伴奏版で演奏。関東地区指導者会主催の「Suzuki と出会う 42 日間プロジェクト」の最終日を飾る企画として、第19回アンサンブル・フェスティバルとともに位置づけていただきました。

■ 2014年9月5日（金）OB・OG会第7回コンサートを開催（国立オリンピック記念青少年総合センター小ホール）

OB・OG会単独開催第2弾として、OBの東 誠三さん、渡辺克哉さんによる「トーク&コンサート」をプロデュース。OB・OG会メンバーが演奏に出演することなく、裏方に徹した初めてのコンサートになりました。

■ 2015年5月10日（日）OB・OG会第8回コンサートを開催（国立オリンピック記念青少年総合センター大ホール）

モーツァルトのディヴェルティメント K.138 と、レスピーギのリュートのための古風な舞曲とアリアを中心に展開。渡辺玲子さん、川本嘉子さんの飛び入り参加もあり、弾みがついたコンサートに。

■ 2015年6月14日（日）楽器を持って集まろう会&総会を開催（パソナ本社ビル地下ホール）

子どもの頃に慣れ親しんだ合奏レッスンの形式で、ヴァイオリン科指導曲集を中心に鈴木裕子会長、守田千恵子先生の音頭で、キラキラ星変奏曲から順に進め、最終的にドッペルまで到達。鈴木鎮一先生ご愛用のヴァイオリンを交代で弾かせていただくなど、思わぬプレゼントもありました。

■ 2016年5月15日（日）OB・OG会第9回コンサートを開催（国立オリンピック記念青少年総合センター大ホール）

「祝 才能教育研究会 70 周年」と銘打ち、アンサンブル・フェスティバルに出演の子どもたちとの共演にもいつも以上に力を注ぎました。OB・OG会としては、シューベルトの弦楽四重奏曲第13番イ短調「ロザムンデ」より第2楽章と第4楽章、そして、バッハのドッペル全楽章を木村眞一会長と給田俊哉副会長のソロで演奏（下の写真）。「生涯教育」を体現した演奏会となりました。



2015年度収支報告書 (2015年5月～2016年4月)

前年度繰越金		¥291,368
収入		
	年会費 (117名)	¥351,000
	参加費 (第8回コンサート, 楽器を持って集まるう会)	¥56,000
	チケット代 (第8回コンサート)	¥6,000
	雑収入 (懇親会余剰金ほか)	¥29,420
	受取利息	¥30
	短期借入金	¥27,876
	合計	¥470,326
支出		
	会議費 (室料ほか)	¥18,640
	会場費 (オリンピックセンター, パソナホール)	¥65,000
	指導料謝礼 (第8回コンサート)	¥110,000
	印刷費 (コンサートチラシ, 総会資料ほか)	¥98,988
	広告宣伝費 (ホームページ維持費)	¥69,942
	通信費 (季刊誌ほか郵送料)	¥76,905
	旅費交通費 (70周年記念式典出張費ほか)	¥26,460
	事務用品消耗品費	¥9,866
	慶弔費	¥20,000
	交際費 (P科卒業式ほか祝金)	¥40,000
	支払手数料	¥10,144
	雑費 (コンサート弁当代, 懇親会補助ほか)	¥22,272
	仮受金・預り金精算	¥15,600
	合計	¥583,817
次年度繰越金		¥177,877
繰越金内訳:		
	当座預金	¥31,866
	ゆうちょ普通預金	¥111,465
	三菱東京普通預金	¥34,546
	現金	¥0
	合計	¥177,877

上記の通り報告いたします。

2016年7月2日

事務局長 川野俊彦



2015年度の会計監査を実施した結果、会計帳簿の記載は正確であり、関係書類および会計処理は適正であり、本会計報告と相違ないことを認めます。

2016年7月2日

監事 服部眞一郎



第8回コンサート (2015.5.10) 収支報告

収入	参加費 (19名×@7,000, 1名×@5,000)	¥138,000
	チケット売上	¥6,000
	チケット売上 (役員割当)	¥30,000
	弁当代 (預り金)	¥9,900
	フェスティバル実行委員会支援金	¥25,000
	会場費返金	¥5,000
	コンサート開催費	¥42,300
	合計	¥256,200
支出	参加費 (会場費)	¥80,000
	指導料謝礼	¥110,000
	チラシ等印刷費	¥48,600
	弁当代	¥17,600
	合計	¥256,200

2015.6.14 総会にて暫定収支報告

第9回コンサート (2016.5.15) 収支報告

収入	参加費 (18名×@7,000)	¥126,000
	寄付金 (2名)	¥20,000
	チケット売上 (90枚)	¥90,000
	弁当代 (預り金)	¥8,800
	コンサート開催費	¥24,436
	合計	¥269,236
支出	参加費 (会場費)	¥80,000
	練習室料	¥13,500
	指導料謝礼	¥110,000
	弁当代	¥13,200
	チラシ等印刷費	¥45,360
	楽譜代, 通信費	¥7,176
	合計	¥269,236

2016年度会計で計上

2016年7月2日

2016～17年度の活動計画

■第7回総会+懇親会開催（7月2日 築地オステリア・ナトゥーレ）

今回は、築地のイタリアンレストランを貸し切って、総会を開催します。イタリアン料理に舌鼓をうちながら、会則の改訂、活動実績、決算報告、活動計画、予算書の発表など年1回の総会を開催します。貸切ですので、楽器演奏も可能です。活発な意見交換とOB・OG同士の交流を深めます。

■第65回夏期学校への支援、参加（8月2日 松本市総合体育館）

期間中に開催され、OB・OGにも広く門戸が解放された「70周年記念コンサート」について、OB・OG会公式サイトでの告知はもとより、コンサートそのものへの参加も積極的に行ないます。

■原点に戻る

OB・OG会の基本は、楽器を持って集まり、わいわいがやがやと音を出しながら楽しんだ後は、異業種交流会のごとき、多彩なメンバーが集まったの懇親会にあると、OB・OG会は考えます。才能教育研究会の鈴木裕子会長も「スズキの原点に戻る」とおっしゃっていますように、OB・OG会も「原点に戻る」ことをキーワードに、さらに交流を深める場を創設していきます。

■地方でのOB・OG会活動の活性化

東京中心となりがちなOB・OG会の動きを、地方でも展開させるために、OB・OG会活動にとりわけ積極的にご参加くださる四日市市在住の清水優さん（ヴァイオリン科）を中心に、東海地区にOB・OG会支部組織を形作るための準備を進めております。そのために必要な支援をいとわず、積極的に地方にも馳せ参じ、膝を突き合わせた交流を図ることで、OB・OG会の「運動」を促進していきます。

■楽器を持って集まろう会（東海地区、甲信地区）を開催予定

指導曲集を元にした、昔懐かしい合奏会を東海地区や甲信地区で開催したいと考えており、準備を進めています。それぞれの地区の指導者の皆様のレッスンで、お楽しみいただきます。

■第10回記念コンサートを開催予定

（2017年5月14日 国立オリンピック記念青少年総合センター大ホール）

これまで同様の、アンサンブルフェスティバルとの共催で、第10回記念コンサートを開催する予定です。OB・OG会のコンサートをさらに魅力溢れるプログラムで展開するとともに、これまでに登場されておられない、新しいゲスト、新しい参加者の皆様との出逢いを楽しみながら、音楽的側面のさらなる充実も図ります。

2016年度予算 (2016年5月～2017年4月)

前年度繰越金		¥177,877
収入		
	会費 (140名分)	¥420,000
	参加費 (第9回コンサート, 楽器を持って集まる会)	¥156,000
	チケット売上	¥90,000
	寄付金	¥20,000
	合計	¥863,877
支出		
	会議費 (総会, 定例会)	¥40,000
	会場費 (第9回コンサート, 楽器を持って集まる会)	¥123,500
	指導料謝礼 (第9回コンサート, 楽器を持って集まる会)	¥130,000
	印刷費	¥95,360
	広告宣伝費 (ホームページ維持費)	¥70,000
	通信費 (季刊誌ほか郵送料)	¥41,000
	旅費交通費 (70周年記念式典出張ほか)	¥50,000
	事務用品消耗品費	¥5,000
	交際費 (祝金ほか)	¥30,000
	支払手数料	¥10,000
	雑費 (第9回コンサート開催費, 懇親会補助ほか)	¥56,012
	合計	¥650,872
次年度繰越金		¥213,005

2016年7月2日

スズキ・メソード OB・OG 会 2016 年度 役員・事務局

会長	木村 真一（弁護士、才能教育研究会業務執行理事、ヴァイオリン科出身）
副会長	給田 俊哉（ヴァイオリン科出身）
顧問	鈴木 裕子（才能教育研究会会長）
監事	服部真一郎（ヴァイオリン科会員）
理事	上野 達弘（早稲田大学大学院法務研究科教授、チェロ科出身）
理事	江口 有香（ニュージーランド交響楽団アシスタントコンサートマスター、ヴァイオリン科出身）
理事	江澤 聖子（ピアニスト、ピアノ科出身）
理事	江村 孝哉（才能教育研究会ヴァイオリン科指導者）
理事	大谷 康子（ヴァイオリニスト、ヴァイオリン科出身）
理事	金森 圭司（医師、指揮者、ヴァイオリン科出身）
理事	壁瀬 宥雅（醍醐寺執行長、チェロ科出身）
理事	川本 嘉子（ヴィオリスト、ヴァイオリン科出身）
理事	小林 庸男（才能教育研究会ヴァイオリン科指導者）
理事	佐藤 康光（棋士九段、ヴァイオリン科出身）
理事	佐藤 満（才能教育研究会チェロ科指導者）
理事	竹澤 恭子（ヴァイオリニスト、ヴァイオリン科出身）
理事	堤 剛（チェリスト、ヴァイオリン科出身）
理事	早野 龍五（東京大学理学部教授、ヴァイオリン科出身）
理事	広瀬 悦子（ピアニスト、ピアノ科出身）
理事	眞峯紀一郎（ヴァイオリニスト、ヴァイオリン科出身）
理事	松井 直樹（才能教育研究会ヴァイオリン科指導者）
理事	松波 恵子（チェリスト、チェロ科出身）
理事	水島 愛子（元バイエルン放送交響楽団ヴァイオリン奏者、ヴァイオリン科出身）
理事	宮地 若菜（才能教育研究会フルート科指導者）
理事	米原 徹（会社員、チェロ科出身）
理事	渡辺 玲子（ヴァイオリニスト、ヴァイオリン科出身）
常務理事	秋葉三佐子（才能教育研究会ピアノ科指導者）
常務理事	井崎 展江（才能教育研究会ピアノ科指導者）
常務理事	川野 俊彦（会社員、ヴァイオリン科出身）
常務理事	末廣 悦子（才能教育研究会ヴァイオリン科指導者）
常務理事	鈴木 祐子（才能教育研究会ピアノ科指導者）
常務理事	佐野登喜男（会社員、ヴァイオリン科出身）
常務理事	守田千恵子（才能教育研究会ヴァイオリン科指導者）
(事務局)	
事務局長	川野 俊彦（会社員、ヴァイオリン科出身）
事務局	小玉 由貴（会社員、ヴァイオリン科出身）
事務局	小寺 真美（会社員、ヴァイオリン科出身）
事務局	佐野登喜男（会社員、ヴァイオリン科出身）
事務局	清水 優（会社員、ヴァイオリン科出身）
事務局	新 巳喜男（自営業、チェロ科会員）
事務局	服部 宏美（主婦、ヴァイオリン科会員）

(敬称略)